

無責任五拾

カレーの隠し味といえば？

清水らくは「はちみつ、しょうが、コーヒ―」
浮島「ヨーグルト、醤油、ミートソース缶」

希望たち

清水らくは

試験に落ちた
ペットがいなくなった
彼女にふられた
ジャガイモがない
人参がない
牛肉も豚肉も鶏肉もない

カレールウと
玉ねぎとサツマイモ
残された希望たち

幼い頃の記憶にも
外食の思い出にも
ひとかけらも登場したことがない
さつまいもカレー
辛さの中に甘さ
日常の中の非日常
約束の中の裏切り

おいしいよ

空腹と寂しさと
カレーの魔術で
どこまでも食べていられる
鍋の底がホワイトホールで
どんどんカレーがあふれ出てくる
さつまいもカレー
歴史上何人もの人々を
飢えから救ってきた
英雄のいもは今も輝いている

知っていたよ
カレーもいつかはなくなる
幻想を食べ続けたんだ
幻想だとしても
さつまいもは甘かった

ひき肉のカレー

浮島

まんまるいニンニクと生姜を刻む
炒める時になるべく香りが出るように刻む
太ったカボチャと人参を刻む
甘味がコクと奥行きをだすように
ちいさく細かく刻む
たまねぎは皮をおき
油でいためた際に透き通るよう
しっかりと刻む

椎茸を刻む
ほのかな旨味をたすように
柔らかくストンストンと刻む

ひき肉には塩とコショウとナツメグ

フライパンには油をひいて
炒め、煮て、ひき肉のカレーを作る

ひと缶くわえたホールトマトの酸味
コクをくわえるウスターソース

夕暮れはひとり
かなしい我が家の味だ

無責任五十号
責任者清水らくは
副責任者浮島
発行無責任 zone
発行日二〇一六年四月一日
<http://borderpoem.seesaa.net>

